

産業構造の転換に伴う労働移動

平成25年10月

経済産業省経済産業政策局
参事官(産業人材政策担当)
奈須野 太

就業構造① 産業別の就業者数(産業構造審議会の予測)

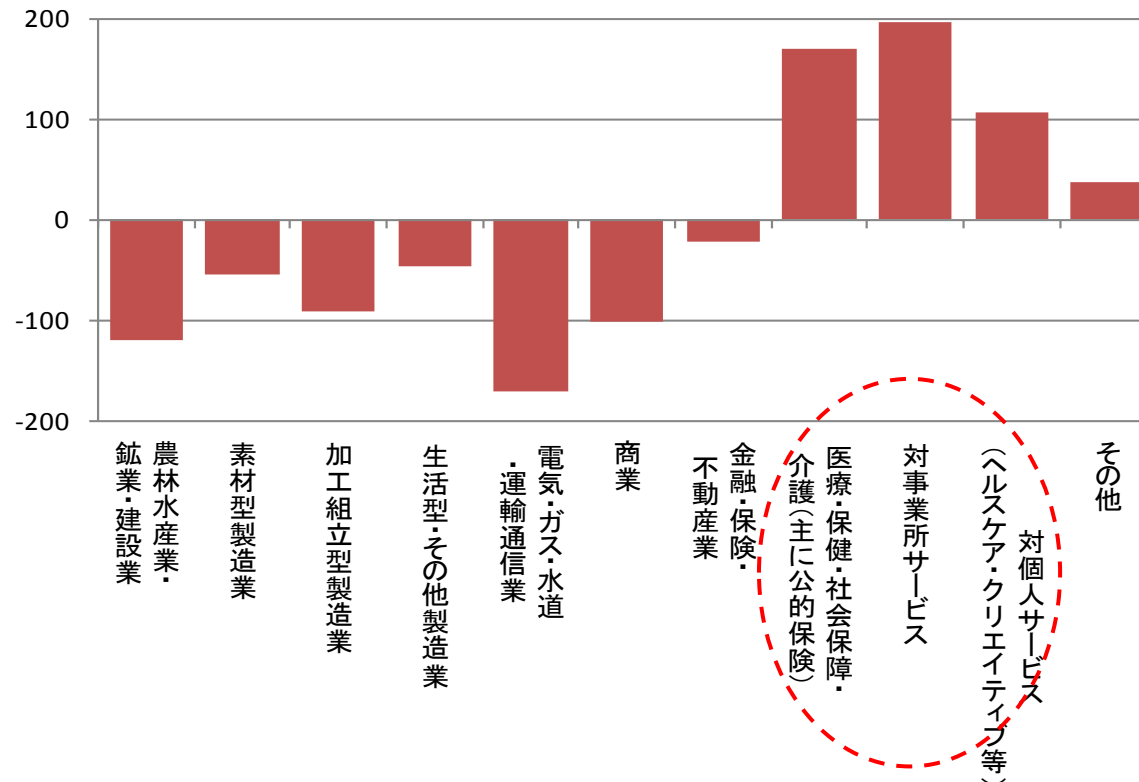
■ 2020年にかけて雇用を増やすことが見込まれる成長産業(政策実現ケース)

① 対事業所サービス(新たなエネルギー産業、人材育成業、デザイン設計業、専門サービス業等)：約200万人

② 医療介護(主に公的保険)：約170万人

③ 対個人サービス業(ヘルスケア・クリエイティブ産業等)：約100万人

2010年から2020年にかけての産業別の就業者数の変化
(就業者数の変化:万人)



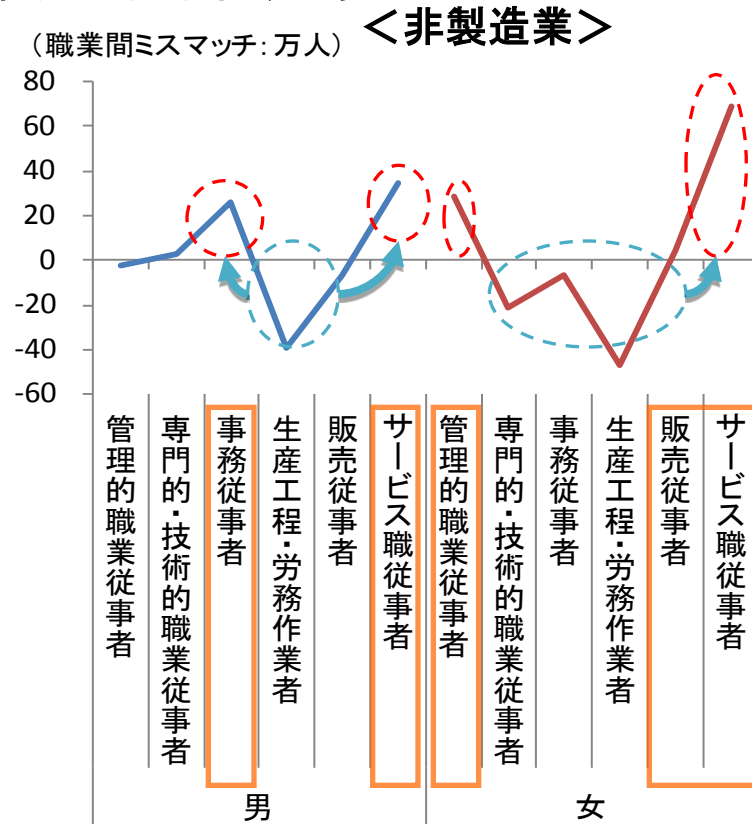
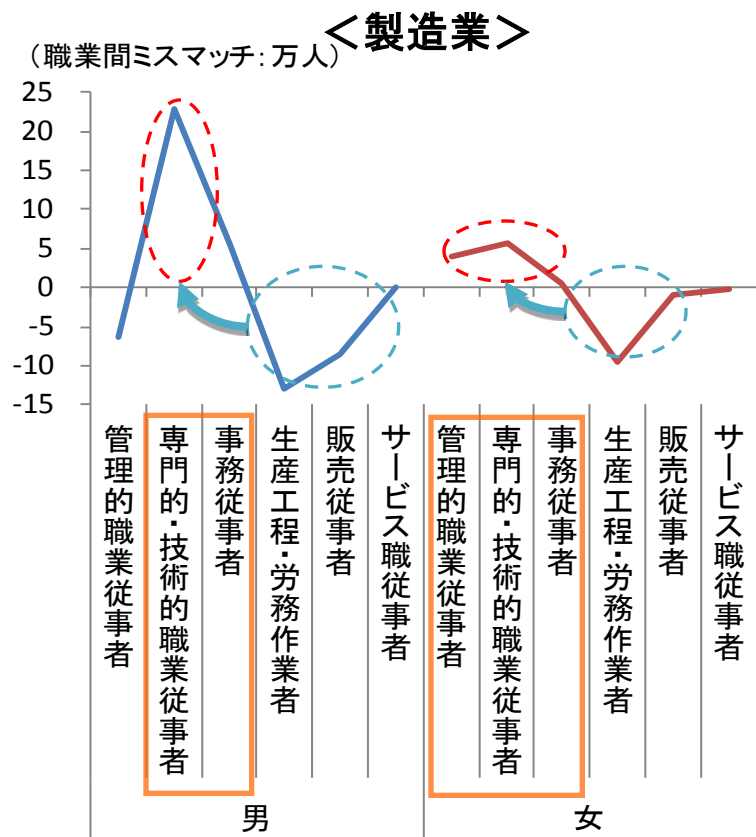
(注) 製造業の雇用は全体として減少するものの、生産性は向上し生産額は空洞化ケースに比べ40兆円増大。輸出も全体で30兆円増加。次世代自動車や蓄電池、医療機器等の新産業分野の成長やグローバル需要の取り込みにより100万人の雇用創出に貢献。

(出所) 経済産業省 産業構造審議会 新産業構造部会報告書 経済社会ビジョン「成熟」と「多様性」を力に～価格競争から価値創造経済へ～ (2012年6月)

就業構造② 産業全体の職種変化

- 製造業では、男女ともに生産工程が減少し、専門技術職が増加。
全体では、**男性で30万人、女性で10万人**程度の職種転換が必要。
 - 非製造業では、男性は労務職が減少し、事務職やサービス職が増加。女性は管理職やサービス職が増加。
全体では、**男性で60万人、女性で100万人**程度の職種転換が必要。
- 産業全体では、**200万人規模の職種転換**が必要。

2010年から2020年にかけての職種別の就業者数の変化

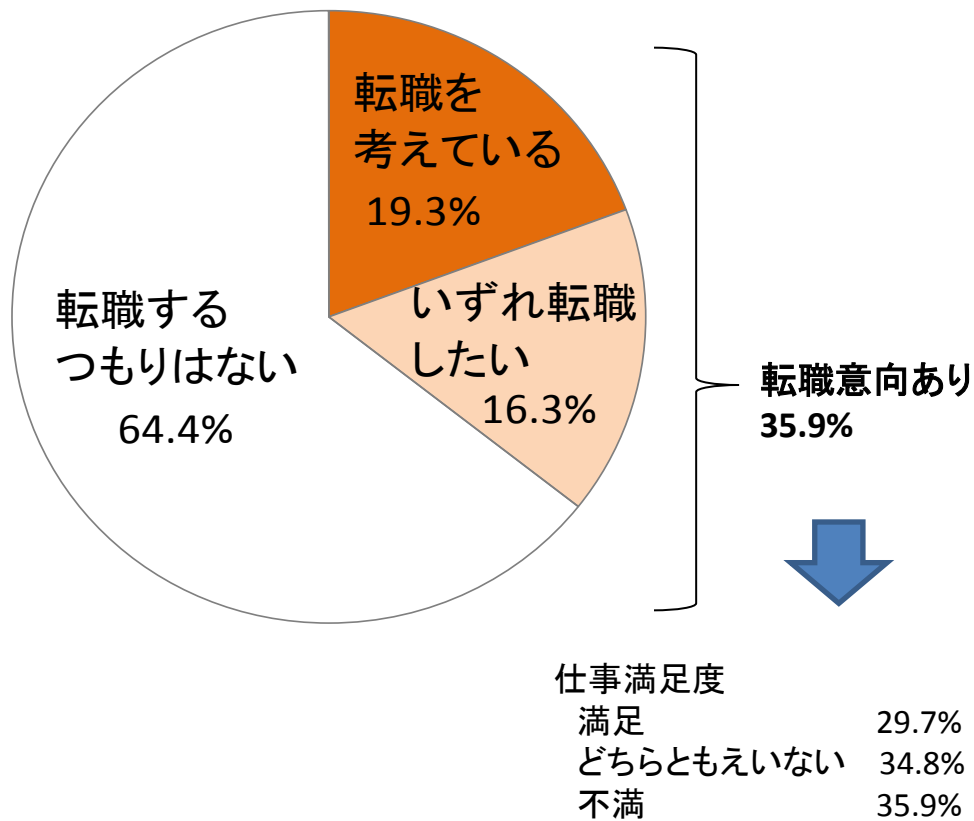


(注) 成長ケースの2020年の性別・職業別就業者数と、性別の職業構成比が2010年時点と変わらないと仮定した場合の就業者数の差分を計算したもの。

(出所) 経済産業省 産業構造審議会 新産業構造部会報告書 経済社会ビジョン「成熟」と「多様性」を力に～価格競争から価値創造経済へ～ (2012年6月)

ミドル層の転職の現状

45～54歳の正社員の転職意向 (規模1000人以上)

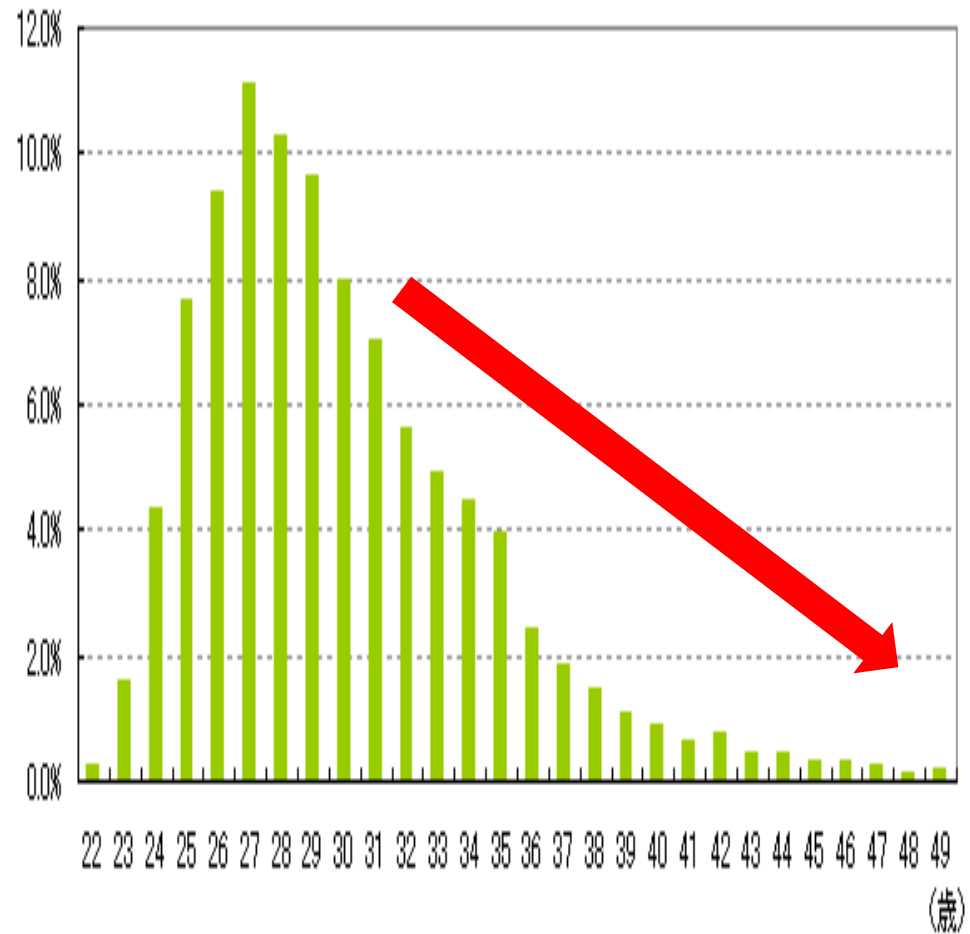


注) N=539

出所)リクルートワークス研究所

『ワーキングパーソン調査』(2010年)

＜転職者の年齢＞

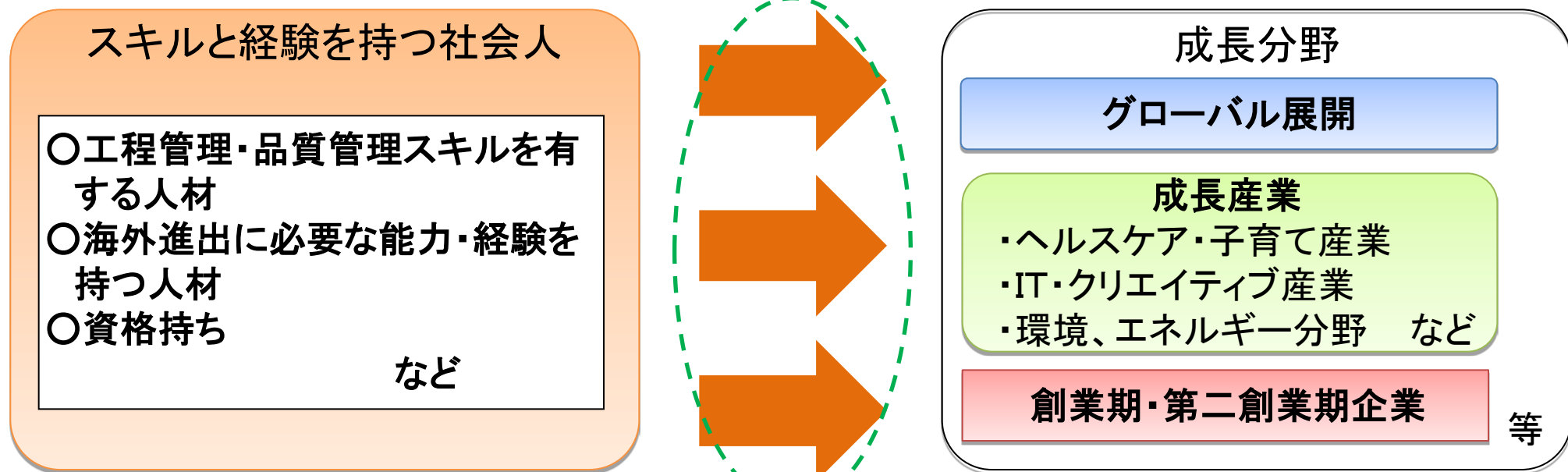


注) N=8000

出所)某人材紹介事業者(求人広告による転職サイト)による
転職で成功した8000人に聞いた転職事情(2010年)

多様な「人活」支援サービス創出事業費 3. 5億円（平成25年度新規事業）

- スキルと経験をもつ社会人がその能力を活かして成長分野で活躍するために、成長分野の人材ニーズに適合したマインド・スキルに係る再教育・マッチングを一体的に行う民間サービスを「人活」支援サービスとして創出。成長分野の拡大と雇用の創出を促進。



「人活」支援サービスの実証

STEP①

分野ごとに異なる成長分野で必要とされる適性、スキルの明確化

STEP②

成長分野に必要なマインドやスキルに係る再教育プログラムの開発

STEP③

再教育プログラム受講者の成長分野の事業者での就労

STEP④

受講者の活躍状況の検証及び再教育プログラムへの反映

平成25年度採択事業者一覧

採択事業者	分野	事業概要
NPO法人 会津NPOセンター	医療機器開発分野	福島県内において医療機器開発に必要な法令、知財等の知識を持つコーディネーターを育成し、福島県内中小企業で一時的に就業。
(株)インテリジェンス	環境エネルギー分野、グローバル展開	大企業ミドル人材を環境・エネルギー企業、グローバル展開企業、ベンチャー企業へ出向。事前研修ではポータブルスキル向上、成長分野実践研修等を実施。
(株)walkntalk	ベンチャー分野	登録された人材の知識・経験により個別にコンサルティングを行うサイトを活用し、休業中の女性等を参加者として、成長分野企業の課題解決に取り組む。
営業創造(株)	介護分野	介護に未従事の有資格者等に対し、介護レクリエーションを教育した上で、介護事業者にて介護レクリエーションを活用し介護事業を支援する就業を実施。
テンプスタッフ・ピープル(株)	環境関連分野	中部圏において、スキルと経験をもつ中高年層について、環境分野において必要な知識、スキル、キャリア研修を行った上で、環境分野の中小企業等へ出向。
(株)東海道シグマ	グローバル展開	浜松市において、プログラム参加者にキャリア移行支援プログラム、専門知識教育、創業型ビジネス教育等を行い、海外展開を狙う中小企業等へ出向。
(株)パソナ	グローバル展開	大企業ミドル人材をグローバル展開を目指す中堅・中小企業へ出向。事前研修では参加者個々のスキル・適性に合わせたテラーメイド型カリキュラムを実施。
(株)パソナテック	IT、ものづくり分野	技術系人材を対象に、新商品開発・新サービス創出分野への転換を目指す中小製造業等で就業。事前研修では、出向先企業も参加するワークショップ等を実施。

事業の進ちょく状況

- 概ね9月～来年1月頃にかけてプログラム参加者向けの研修が実施されており、各事業のスキームや参加者の状況に応じて、研修前～研修後にかけて出向等の受入先企業とのマッチングを継続的に実施。
- 人材の所属元企業としては、製造業が多くなっているが、金融、建設・不動産、物流等の幅広い業種からの人材も参加。
- 受入先企業については、製造業、サービス業の多数の企業が候補として参加しており、各参加者とのマッチングが成立した後の概ね12月～2月頃に、実際の就業が開始される予定。